

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	会津若松市 (07202)
地域名 (地域内農業集落名)	高野地区 (上高野、下高野、吉田、森台、界沢、西木流、橋本、中前田、沼木、鶴沼集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	424.12 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	396.39 ha
② 田の面積	395.10 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	29.02 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	50.39 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	45.37 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	134.37 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	46.39 ha
(備考)⑤について、規模縮小等の意向が示されている田においては、当面は引き受け手が確保される見込みであることから、その合計面積を記載している。	

(2) 地域農業の現状及び課題

■人 ○基盤整備を実施した集落では、農地の集積・集約化が図られており、認定農業者だけでなく兼業農家等の中小規模の農業者も担い手として活躍している。 ○基盤整備を実施していない集落では、中小規模の農業者の規模縮小・リタイアが増えてきており、集落内の担い手も狭小地の耕作に苦慮していることから、集落外の農業法人等の入作者を交えながら維持管理を図っている。 ○現状の担い手の子弟の中に、就農意向を持つ者が数名存在しているため、将来的な地域農業の担い手として育成していく必要がある。 ○上高野集落で、基盤整備後の農地の集積・集約化先として農業法人が設立され、関係機関の助言を受けながら経営基盤の強化を図っているが、従業員が不足しており、後継者確保の見通しも立っていない。 ■農地 ○地区西側の農地は、上高野集落が基盤整備完了したことで大部分の農地が大区画化されたが、東側の中前田集落・沼木集落のほぼ全域及び橋本木流集落の一部農地は狭小地である。 ○町北地区・下荒久田集落で基盤整備事業が計画されており、中前田集落の一部農地をエリアに含める予定だが、大部分は狭小地として残存する見込みである。 ○そのため、基盤整備を実施していない狭小地における今後の方針について検討していく必要がある。 ○基盤整備を実施した集落でも、住宅地付近等には狭小な畑地が残存しており、所有者自身により維持管理せざるを得ないが、高齢化により困難になってきているため、より効率的な手法について検討していく。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

○現状維持を希望する個人の農業者については、今後も地域の担い手として可能な限り水稻や野菜・花き等の作付けを継続する。 ○規模拡大の意向を示す農業者が多いため、規模縮小等で貸借が必要な農地が発生した際は、所有者の意向を踏まえつつ引き受けを希望する担い手間で協議しながら引き受け手を選定していく。 ○農業法人の後継者となり得る従業員の確保に向けて、雇用就農資金等の活用を検討していく。 ○狭小な畑地において引き受け手を見込むのは困難であることから、効率的な維持管理の手法について検討していく。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
○大区画田については、今後も引き受け手が確保される見込みであるため、現状の担い手を中心に水稻作付け等を継続していく。 ○狭小な田においては、今後、引き受け手が不足することが懸念されるため、基盤整備等の耕作条件改善に向けた取組の検討を行っていく。 ○住宅地付近の狭小地は、基盤整備は難しく今後も引き受け手の確保を見込むのは難しいことから、当面は所有者自身による維持管理を図りつつ、より効率的な手法について検討していく。					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	47	%	将来の目標とする集積率	59	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
○基盤整備済みの集落では整備計画に沿った集積・集約化が行われているため、今後も同様の体制を継続していく。 ○新たに貸借が必要な農地が発生した際は、集積・集約化に加え、所有者の意向や引き受けを希望する担い手の意向等も尊重しながら引き受け手を選定していく。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	
○基盤整備済みの集落では整備計画に沿った集積・集約化が行われているため、今後も同様の体制を継続していく。 ○新たに貸借が必要な農地が発生した際は、集積・集約化に加え、所有者の意向や引き受けを希望する担い手の意向等も尊重しながら引き受け手を選定していく。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	
○現在、農業委員会の利用権設定等促進事業による利用権設定を活用して行われている農地貸借については、契約期間満了後、農地中間管理機構を活用した貸借への移行を推進していくが、それが難しい際は農地法第3条に基づく貸借を活用していく。 ○新たに基盤整備を実施する農地では、農地中間管理機構を活用した貸借が必須となることから、関係機関と連携しながら貸借契約等の事務手続きを進めていく。 ○中小規模の農業者が農業を継続していくために、農作業受委託契約の活用についても検討していく。	
(3)基盤整備事業への取組	
○基盤整備未実施の狭小地において、新たな整備事業の要否について検討していく。 ○地区の南東に位置する町北地区・下荒久田集落で基盤整備事業の検討が始まっていることから、一体的な整備の可否についても検討していく。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
○地区内農業者の子弟の内、数名が就農意向を示しているため、地区内の担い手を中心に新たな地区内農地の担い手へと育成していく。 ○農業法人の後継者確保の手段の1つに、新規就農者を法人が受け入れ、雇用就農資金等を活用しながら後継者へと育成していく取組が期待できることから、関係機関から高野地区で新規就農を希望する者についての情報収集を継続的に行っていく。	
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	
○農業機械の故障等の不測の事態が生じた際は、農業支援サービス事業者等の活用について検討する。	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)									
☐	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☐	④輸出	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携	☐	⑩その他
【選択した上記の取組内容】									
③スマート農業 農業従事者の減少や高齢化による担い手不足などの課題があることから、スマート農業の技術を活用し、省力化や効率的な生産を図っていく。									
⑦保全・管理等 ○地区内の多くの集落が多面的機能支払制度に取り組んでおり、農地の多面的な機能を維持し、集落内農地を集落で守っていく意識の醸成に効果的な取組であることから、今後も取組を継続していく。									

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
	別紙の通り		285.94 ha	- ha		285.94 ha	- ha		
計	59経営体		285.94 ha	0 ha		285.94 ha	0 ha		

5 目標地図(別添のとおり)

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状					10年後 (目標年度:令和16年度)						
			経営作目等	経営面積		作業受託面積		経営作目等	経営面積		作業受託面積	目標地図上の表示	備考	
1	認農	経営体A1	複合経営	37.29	ha	-	ha	複合経営	37.29	ha	-	ha	A1	
2	認農	経営体A2	水稲	17.60	ha	-	ha	水稲	17.60	ha	-	ha	A2	
3	認農	経営体A3	水稲	13.51	ha	-	ha	水稲	13.51	ha	-	ha	A3	
4	認農	経営体A4	複合経営	12.67	ha	-	ha	複合経営	12.67	ha	-	ha	A4	
5	認農	経営体A5	複合経営	10.72	ha	-	ha	複合経営	10.72	ha	-	ha	A5	
6	認農	経営体A6	水稲	10.23	ha	-	ha	水稲	10.23	ha	-	ha	A6	
7	認農	経営体A7	水稲	9.39	ha	-	ha	水稲	9.39	ha	-	ha	A7	
8	認農	経営体A8	複合経営	8.88	ha	-	ha	複合経営	8.88	ha	-	ha	A8	
9	認農	経営体A9	水稲	7.55	ha	-	ha	水稲	7.55	ha	-	ha	A9	
10	認農	経営体A10	複合経営	6.57	ha	-	ha	複合経営	6.57	ha	-	ha	A10	
11	認農	経営体A11	複合経営	6.49	ha	-	ha	複合経営	6.49	ha	-	ha	A11	
12	認農	経営体A12	水稲	6.48	ha	-	ha	水稲	6.48	ha	-	ha	A12	
13	認農	経営体A13	水稲	6.30	ha	-	ha	水稲	6.30	ha	-	ha	A13	
14	認農	経営体A14	水稲	5.97	ha	-	ha	水稲	5.97	ha	-	ha	A14	
15	認農	経営体A15	水稲	5.86	ha	-	ha	水稲	5.86	ha	-	ha	A15	
16	認農	経営体A16	複合経営	5.86	ha	-	ha	複合経営	5.86	ha	-	ha	A16	
17	認農	経営体A17	水稲	4.58	ha	-	ha	水稲	4.58	ha	-	ha	A17	
18	認農	経営体A18	水稲	4.05	ha	-	ha	水稲	4.05	ha	-	ha	A18	
19	認農	経営体A19	複合経営	4.01	ha	-	ha	複合経営	4.01	ha	-	ha	A19	
20	認農	経営体A20	水稲	2.72	ha	-	ha	水稲	2.72	ha	-	ha	A20	
21	認農	経営体A21	複合経営	2.27	ha	-	ha	複合経営	2.27	ha	-	ha	A21	
22	認農	経営体A22	水稲	1.95	ha	-	ha	水稲	1.95	ha	-	ha	A22	
23	認農	経営体A23	水稲	1.59	ha	-	ha	水稲	1.59	ha	-	ha	A23	
24	認農	経営体A24	水稲	1.54	ha	-	ha	水稲	1.54	ha	-	ha	A24	
25	認農	経営体A25	水稲	1.16	ha	-	ha	水稲	1.16	ha	-	ha	A25	
26	認農	経営体A26	水稲	0.87	ha	-	ha	水稲	0.87	ha	-	ha	A26	
27	認就	経営体A27	複合経営	0.78	ha	-	ha	複合経営	0.78	ha	-	ha	A27	
28	認農	経営体A28	水稲	0.69	ha	-	ha	水稲	0.69	ha	-	ha	A28	
29	認農	経営体A29	花き	0.68	ha	-	ha	花き	0.68	ha	-	ha	A29	
30	認農	経営体A30	水稲	0.58	ha	-	ha	水稲	0.58	ha	-	ha	A30	
31	認農	経営体A31	水稲	0.46	ha	-	ha	水稲	0.46	ha	-	ha	A31	
32	認農	経営体A32	水稲	0.45	ha	-	ha	水稲	0.45	ha	-	ha	A32	
33	認農	経営体A33	水稲	0.44	ha	-	ha	水稲	0.44	ha	-	ha	A33	

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状					10年後 (目標年度:令和16年度)						
			経営作目等	経営面積		作業受託 面積		経営作目等	経営面積		作業受託面 積		目標地図上 の表示	備考
34	認農	経営体A34	水稲	0.08	ha	-	ha	水稲	0.08	ha	-	ha	A34	
35	利用者	経営体B1	複合経営	15.49	ha	-	ha	複合経営	15.49	ha	-	ha	B	
36	利用者	経営体B2	複合経営	6.75	ha	-	ha	複合経営	6.75	ha	-	ha	B	
37	利用者	経営体B3	複合経営	4.55	ha	-	ha	複合経営	4.55	ha	-	ha	B	
38	利用者	経営体B4	水稲	4.31	ha	-	ha	水稲	4.31	ha	-	ha	B	
39	利用者	経営体B5	複合経営	4.17	ha	-	ha	複合経営	4.17	ha	-	ha	B	
40	利用者	経営体B6	水稲	3.83	ha	-	ha	水稲	3.83	ha	-	ha	B	
41	利用者	経営体B7	複合経営	3.58	ha	-	ha	複合経営	3.58	ha	-	ha	B	
42	利用者	経営体B8	複合経営	3.56	ha	-	ha	複合経営	3.56	ha	-	ha	B	
43	利用者	経営体B9	複合経営	3.50	ha	-	ha	複合経営	3.50	ha	-	ha	B	
44	利用者	経営体B10	水稲	3.20	ha	-	ha	水稲	3.20	ha	-	ha	B	
45	利用者	経営体B11	複合経営	2.95	ha	-	ha	複合経営	2.95	ha	-	ha	B	
46	利用者	経営体B12	水稲	2.92	ha	-	ha	水稲	2.92	ha	-	ha	B	
47	利用者	経営体B13	複合経営	2.84	ha	-	ha	複合経営	2.84	ha	-	ha	B	
48	利用者	経営体B14	複合経営	2.82	ha	-	ha	複合経営	2.82	ha	-	ha	B	
49	利用者	経営体B15	複合経営	2.75	ha	-	ha	複合経営	2.75	ha	-	ha	B	
50	利用者	経営体B16	複合経営	2.63	ha	-	ha	複合経営	2.63	ha	-	ha	B	
51	利用者	経営体B17	水稲	2.56	ha	-	ha	水稲	2.56	ha	-	ha	B	
52	利用者	経営体B18	複合経営	2.38	ha	-	ha	複合経営	2.38	ha	-	ha	B	
53	利用者	経営体B19	複合経営	2.27	ha	-	ha	複合経営	2.27	ha	-	ha	B	
54	利用者	経営体B20	複合経営	2.23	ha	-	ha	複合経営	2.23	ha	-	ha	B	
55	利用者	経営体B21	複合経営	2.14	ha	-	ha	複合経営	2.14	ha	-	ha	B	
56	利用者	経営体B22	水稲	2.11	ha	-	ha	水稲	2.11	ha	-	ha	B	
57	利用者	経営体B23	水稲	1.41	ha	-	ha	水稲	1.41	ha	-	ha	B	
58	利用者	経営体B24	野菜	0.49	ha	-	ha	野菜	0.49	ha	-	ha	B	
59	利用者	経営体B25	水稲	0.23	ha	-	ha	水稲	0.23	ha	-	ha	B	